
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 教 授 関村 誠

研究キーワード : 感性、場、風土、現れ、イメージ

■研究テーマ

① テーマ：古代ギリシア思想における感性に関わる理論

概要：主として古代ギリシア思想の原典テキストの分析検討を通じて、イメージの受容と創造に関わる諸概念を考察し、その意味を解明します。また哲学思想における感覚機能の様態と価値を究明します。とりわけ、プラトンとプロティノスの理論の感性論の側面からの解釈を試み、現代的な意義を探究しています。

② テーマ：芸術創造における〈場〉の理論

概要：今日、美術館やギャラリーの空間内とは異なる場においての芸術作品展示がますます展開されるようになってきています。この状況をふまえて、造形芸術に関わる理論において、創造行為とそれが展開される場との関係を考察します。この創造の場の問題を、古代ギリシア思想やその後の西洋思想における場所・空間に関わる理論、また「風土」や「間」をめぐる日本的感性に関わる理論を参考にしつつ検討します。

■研究テーマの応用例

造形芸術における創造行為の意味を明らかにする基礎理論を構築します。

地域連携型のアートプロジェクトの実行に際して、地域独自の場と芸術創造のあり方を結びつけるために理論的側面からサポートします。地域の特性とそこで展開する創造行為との関連、さらには海外の研究者や芸術家との交流やプロジェクトの意義を理論面から明確にし、共同研究を遂行します。

■主な著書

Makoto Sekimura, *Platon et la question des images*, Ousia, Bruxelles, 2009

■想定される連携先

- ・ 公的研究機関
- ・ 教育機関
- ・ 地域団体